

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)令和7年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反映す べき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理		3	1	2	6
2 生産工学		1	1		2
3 水稻	1	3	4	1	9
4 畑作物	1	2		1	4
5 特産作物				1	1
6 果樹	1	4			5
7 野菜		7		1	8
8 花き			3		3
9 土壌作物栄養		4			4
10 病害虫制御		3		2	5
11 乳用牛				2	2
12 肉用牛		1	5	4	10
13 中小家畜(豚・鶏)		1			1
14 草地・飼料作物		2			2
15 畜産環境					0
共通					0
[計]	3	31	14	14	62

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本及び近い将来、普及区分や指導区分の試験研究成果として発展が見込める成果

(2)令和7年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
水稻	R7-普-01	高水分状態の水稲収穫に高い適応性を備えた高湿材適応コンバイン	生産システム
果樹	R7-普-02	りんご「雪いわて」の収穫適期の目安	果樹
畑作物	R7-普-03	大豆品種「リョウユウ」の栽培法	水田利用

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
農業構造・ 経営管理	R7-指-01	水稲乾田直播栽培(プラウ耕鎮圧体系)の生産技術体系データ	農業経営
水稻	R7-指-02	「銀河のしずく」の乾田直播栽培可能地域	生産システム
水稻	R7-指-03	令和7年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
水稻	R7-指-04	ほ場でも容易に実施できる無人航空機（ドローン）を利用した水稲成熟期推定技術	生産システム
土壌作物 栄養	R7-指-05	気候変動下における水稲の生産性と有機物施用効果	土壌肥料
土壌作物 栄養	R7-指-06	基肥一発施肥体系における施肥から入水までの畑期間が水稲の生育・収量、玄米品質に及ぼす影響	土壌肥料
畑作物	R7-指-07	岩手県的小麦栽培における越冬前後の踏圧時期及び回数の違いが生育に及ぼす影響	水田利用
生産工学	R7-指-08	大豆栽培への自動操舵農機及び無人航空機（ドローン）の導入効果	生産システム
畑作物	R7-指-09	雑穀の播種及び機械除草におけるRTK-GNSS自動操舵システムの効果	作物（県北）
果樹	R7-指-10	りんご園地におけるロボット草刈機導入による草生管理の省力効果及び効果的な使用方法	果樹
果樹	R7-指-11	ぶどう「シャインマスカット」の花穂整形時における上部支梗利用方法と省力効果	果樹
果樹	R7-指-12	ぶどう「シャインマスカット」の上部支梗利用時は下向きの花穂を選択することで果房管理作業を省力化できる	果樹
果樹	R7-指-13	管理作業の省力化及び大玉生産が可能なブルーベリーの交互結実剪定法	果樹
病虫害制 御	R7-指-14	土着天敵の保護を目的としたりんご園の下草高刈管理におけるロボット草刈機の適用性及び樹冠下への除草剤使用について	病理昆虫
病虫害制 御	R7-指-15	県内主要りんご産地におけるナミハダニの薬剤感受性実態	病理昆虫
農業構造・ 経営管理	R7-指-16	施設野菜専作経営体の経営者行動の特徴からみた経営発展のポイントと支援策	農業経営
野菜	R7-指-17	夏秋どりトマトの短期収量予測技術	野菜
野菜	R7-指-18	きゅうりのハウス無加温作型における炭酸ガス局所施用ダクトの設置方法	野菜
野菜	R7-指-19	ブロッコリー早春まき作型における有望品種の適応性	野菜

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
野菜	R7-指-20	ブロッコリー夏まき作型における有望品種の適応性	野菜
土壌作物 栄養	R7-指-21	「有機質資材の肥効見える化アプリ」を活用した露地野菜の減化学肥料栽培技術	土壌肥料
土壌作物 栄養	R7-指-22	露地野菜の減化学肥料栽培に向けた岩手県内に流通する家畜ふん堆肥の窒素肥効特性と全窒素によるADSONの推定	土壌肥料
野菜	R7-指-23	ミスト噴霧の効果は、ほうれんそうの品種によって異なる	果樹・野菜
野菜	R7-指-24	施設きゅうりの摘心栽培における生育予測手法	果樹・野菜
野菜	R7-指-25	施設きゅうり摘心栽培における生育予測に基づく栽培管理支援ツール	果樹・野菜
病虫害制 御	R7-指-26	りんどうにおけるTPN水和剤散布時の展着剤加用による薬斑軽減効果	病理昆虫
肉用牛	R7-指-27	黒毛和種繁殖雌牛における分娩前後の胸囲長の増減を指標とした栄養状態の簡易モニタリング	家畜育種
草地・飼料 作物	R7-指-28	乳用育成牛の放牧における日増体量確保のためのルーメン深度測定法と目安	家畜飼養・飼料
草地・飼料 作物	R7-指-29	オーチャードグラス、チモシーの秋季更新時における播種晩限の推定	家畜飼養・飼料
農業構造・ 経営管理	R7-指-30	施設園芸産地における環境モニタリングデータ活用支援の取組手順書	農業経営
中小家畜 (豚・鶏)	R7-指-31	バークシャー種去勢豚の厚脂を防ぐ肥育飼料給与法	家畜育種

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
農業構造・ 経営管理	R7-行-01	生産技術体系データ（2025年版）	農業経営
水稻	R7-行-02	令和7年度における水稻奨励品種決定基本試験の本試験・現地試験結果	水田利用
水稻	R7-行-03	令和8年度水稻奨励品種決定基本試験 本試験・現地試験に新たに供試する系統	水田利用
生産工学	R7-行-04	暗渠排水の維持管理に活用可能なRTK-GNSSデータの有効性	水田利用
水稻	R7-行-05	令和8年度水稻奨励品種決定予備試験に新たに供試する主食用うるち系統「岩手164号」、「岩手165号」、「岩手166号」	作物育種
水稻	R7-行-06	ゲノム育種により育成した「ひとめぼれ」の有用遺伝子集積系統	作物育種
花き	R7-行-07	令和7年度りんどう奨励品種決定試験結果	花き
花き	R7-行-08	令和8年度りんどう奨励品種決定試験（切り花）に新たに供試する系統	花き
花き	R7-行-09	令和8年度りんどう奨励品種決定試験（鉢花）に新たに供試する系統	花き
肉用牛	R7-行-10	県内黒毛和種集団における新細かさ指数及び一価不飽和脂肪酸割合の遺伝的パラメーターと育種価の推定（第2報）	家畜育種
肉用牛	R7-行-11	日本短角種産肉能力検定（直接法）成績	家畜育種
肉用牛	R7-行-12	日本短角種産肉能力検定（現場後代検定法）成績	家畜育種
肉用牛	R7-行-13	黒毛和種産肉能力検定（直接法）成績	種山畜産
肉用牛	R7-行-14	黒毛和種産肉能力検定（現場後代検定法）成績	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
農業構造・ 経営管理	R7-研-01	農林業センサスから見る岩手県の水田作における農地流動化の特徴	農業経営
水稻	R7-研-02	令和7年度における水稻晩植栽培による生育・収量への影響	生産システム
特産作物	R7-研-03	雑穀類対応汎用コンバインの開発	作物（県北）
農業構造・ 経営管理	R7-研-04	施設野菜専作経営体の経営発展過程における経営者行動の特徴	農業経営
野菜	R7-研-05	四季成り性いちご品種「なつあかり」の電照用LEDによる白熱電球代替技術の検証	南部園芸
病虫害制 御	R7-研-06	黒色のみを利用した粘着トラップに対するトマトキバガ成虫の誘引性質	病理昆虫
病虫害制 御	R7-研-07	キャベツ黒すす病の発生確認と防除対策	果樹・野菜
肉用牛	R7-研-08	県内黒毛和種集団における未診断疾患の遺伝要因とされる候補有害変異の保因状況	家畜育種
肉用牛	R7-研-09	県内日本短角種集団におけるゲノム情報を活用した遺伝的多様性と近交度の評価	家畜育種
肉用牛	R7-研-10	ふすまの長期的給与が日本短角種牛肉の官能特性及び理化学的性状に及ぼす影響	家畜育種
乳用牛	R7-研-11	乾乳期から分娩時における飼養形態が生産性向上に及ぼす要因分析	家畜飼養・飼料
乳用牛	R7-研-12	繋留飼養の搾乳牛におけるTMR給与条件の違いが採食行動へ及ぼす影響	家畜飼養・飼料
肉用牛	R7-研-13	ヒト用皮下組織間質液グルコース濃度測定による黒毛和種哺乳牛の血糖値モニタリングと子牛の異状との関連性	外山畜産
畑作物	R7-研-14	近年の気象条件が大豆の生育・収量・品質に与える影響と播種時期や品種の違いの検証	水田利用

2 追跡評価

○令和7年度追跡評価の実施結果

(1) 評価対象

普及区分9成果及び指導区分31成果、合計40成果

※普及区分(令和4年度9成果)

指導区分(令和4年度31成果)

(2) 評価区分及び評価者

評価区分	成果区分	評価者	評価視点
内部	普及、指導	各担当研究室長	現在の有効性
外部	普及	生産者等（JA含む）、普及C	成果の活用状況
	指導	普及C	成果の活用状況

(3) 評価結果

ア 内部評価

評価結果はいずれもAであった。

区分	有効性	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
普及	A	9	10	1	6	8	6	5	8	4	3	9
	B		2	1								
	C		1									
	D											
指導	A	21	35	32	18	36	41	37	30	38	19	31
	B		1	1	1							
	C											
	D											

(注) 太字は今回評価の対象成果

A: 現在でも有効

B: 既に成果の目的を達成し、現在では有効性がない

C: 後年度の成果に反映

D: 無効(Bに含まれないもの)

イ 外部評価（括弧内は前年度の値）

(ア) 成果区分「普及」

a 生産者等評価

- ① 活用状況は、「現在も活用している」が90.9%(40.0%)、「以前活用したが、今は活用していない」が0.0%(20.0%)、「活用の機会がない」が9.1%(40.0%)であった。「活用の機会がない」理由としては、情報として参考になったことは有用だったが、既に他の技術を用いているためという回答があった。
- ② 満足度は、「満足」が54.5%(20.0%)、「概ね満足」が36.4%(40.0%)、「あまり満足できない」が9.1%(40.0%)、「満足できない」が0.0%(0.0%)であった。「あまり満足できない」理由としては、苗の生産量を増やす対策と病害対策をしてほしいためという回答があった。

b 普及センター評価

- ① 経営体での活用状況は、「よく活用されている・活用されている」が94.4%(66.7%)、「あまり活用されていない・活用されていない」が5.6%(33.3%)であった。
- ② 「あまり活用されていない・活用されていない」理由としては、成果内容については理解したが、管内では活用できる経営体が極めて少ないためという回答があった。

(イ) 成果区分「指導」

a 普及センター評価

- ① 指導上の参考になったかは、「大いに参考になった・参考になった」が89.5% (93.8%)、「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」が10.4% (6.2%)であった。
- ② 指導効果が得られたかは、「大いに得られた・得られた」が76.8% (73.5%)、「あまり得られなかった・得られなかった」が23.2% (26.5%)であった。
- ③ 「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」及び「あまり得られなかった・得られなかった」理由としては、管内で成果を活用していない、または活用事例が少ないためという回答等があった。

表 外部評価の結果

成果区分	評価者	回答率	質問	回答	
普及	生産者等	100%	成果の活用	現在も活用している	90.9%
				以前活用したが、今は活用していない	0.0%
				活用の機会がない	9.1%
			成果の満足度	満足	54.5%
				概ね満足	36.4%
				あまり満足できない	9.1%
				満足できない	0.0%
指導	普及セ	100%	経営体での活用	よく活用されている	61.1%
				活用されている	33.3%
				あまり活用されていない	5.6%
				活用されていない	0.0%
			指導上の参考	大いに参考になった	48.8%
				参考になった	40.7%
				あまり参考にならなかった	8.1%
				参考にならなかった	2.3%
			指導効果	大いに得られた	29.1%
				得られた	47.7%
				あまり得られなかった	11.6%
				得られなかった	11.6%

3 東北農業研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	生産環境	畜産飼料作	計
研究成果数	1	2	3

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
生産環境	岩手県内で流通する家畜ふん堆肥の窒素肥効特性と全窒素によるADSONの推定	普及	土壌肥料
畜産飼料作	オーチャードグラス、チモシーの秋季更新時における播種晩限の推定	普及	家畜飼養・飼料
畜産飼料作	黒毛和種繁殖雌牛における分娩前後の胸囲長の増減を指標とした栄養状態の簡易モニタリング	普及	家畜育種